

平成25年度総合企画局運営方針

目 次

1	基本方針（総合企画局の基本的な役割）	1
2	重点方針（総合企画局の具体的な取組内容）	1
3	局運営の総括表	2
4	重点取組の概要	4
5	平成24年度総合企画局予算のポイント	9

総合企画局各担当の業務内容

室名	担当名	主な担当業務
政策企画室	政策総務担当	局の庶務・計理、都市関係会議、地方分権改革の推進、広域連携、国立京都国際会館に関する事務
	京都創生担当	国家戦略としての京都創生の推進
	政策企画担当	京都市基本構想、京都市基本計画、行政評価条例による事務の統轄、政策評価制度、政策の調査・研究
東京事務所		各省庁との連絡・情報収集、首都圏におけるシティセールス
市長公室	秘書担当	市長・副市長の秘書、儀式・表彰等、一般褒章の内申等、寄付受納
	広報担当	市民しんぶんの発行、テレビ・ラジオ・ITなどを活用した市政広報、報道機関への情報提供、市民憲章の推進、市長への手紙、市政総合アンケート、市政情報総合案内コールセンターの運営、市長祝辞等の指導・調整
	政策調整担当	国の予算・施策に係る提案・要望、京都府との連絡及び調整、重要事務事業の進行管理、未来まちづくり戦略会議の運営
市民協働政策推進室	市民協働担当	市政や市民活動への市民参加の推進
	大学政策担当	大学のまち京都・学生のまち京都の推進、大学のまち交流センターに関する事務
	プロジェクト推進担当	学校跡地活用、東部クリーンセンター跡地活用、地下鉄北山駅周辺地域の活性化、大学施設整備支援、山ノ内浄水場跡地活用の検討、岡崎地域活性化ビジョンの推進、下京区西部エリアの活性化の推進
国際化推進室		多文化共生施策の推進、姉妹都市等との交流、国際的儀礼・接遇、国際交流関係団体等との連絡、外国人留学生に関する事務、世界歴史都市会議・世界歴史都市連盟・京都市国際交流会館・京都迎賓館に関する事務
情報化推進室	情報政策担当	情報化の推進に関する調査、企画
	情報管理担当	文書管理、マイクロフィルム化事業、文書交換所及びメールセンターの運行管理、条例及び規則の公布並びに告示等の公表、情報公開条例による事務の統轄、個人情報保護条例による事務の統轄、行政資料の収集、管理及び提供
	情報システム担当	情報システムの管理運営
	情報統計担当	統計調査の実施・統轄、統計資料の編集・刊行、統計情報の高度利用（解析）

1 基本方針 (総合企画局の基本的な役割)

総合企画局は、市長のトップマネジメントを直接補佐し、政策の企画・推進に当たっての全庁横断的な調整の役割を担うとともに、市民参加の推進や市政情報の発信など、市政と市民の皆様とのパイプの役割を担当しています。

門川京都市政の基本姿勢である「市民の皆様との共汗」と「政策の融合」の理念が市政のすべての分野に生かされるように、全職員が一致協力して全力で取り組みます。

2 重点方針 (総合企画局の具体的な取組内容)

平成24年3月に策定した「はばたけ未来へ！^{みやこ}京プラン」実施計画に掲げる事業や取組を着実に推進するとともに、以下に掲げる8つの重点方針の下に各種事業を推進します。

- I 都市経営の視点に立つ政策の企画・推進
- II 国家戦略としての京都創生の推進
- III 多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進
- IV 参加と協働による市政運営とまちづくりの推進
- V 大学のまち京都・学生のまち京都の推進
- VI 京都の活性化に向けた拠点づくりの推進
- VII 国際交流、多文化共生施策の推進
- VIII 情報化の推進

3 局運営の総括表

重点方針	平成25年度重点取組				平成24年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	主な実績
I 都市経営の視点に立つ政策の企画・推進	1 「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン」の推進	取組の推進	「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン（京都市基本計画）」	政策企画室（政策企画担当），市長公室（政策調整担当）	「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン」の推進	・「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画の周知 ・京プラン及び同実施計画の着実な推進及び市会への報告など進捗状況の公表
	2 未来の京都創造研究事業	取組の推進		政策企画室（政策企画担当）	未来の京都創造研究事業	・研究者による調査研究活動、成果報告会及び交流会の実施
	3 総合特区制度を活用した事業の推進	取組の推進		政策企画室（政策企画担当）	総合特区制度を活用した事業の推進	・地域活性化総合特別区域計画の認定 ・国際戦略総合特別区域計画に基づく事業の推進
II 国家戦略としての京都創生の推進	4 国家戦略としての京都創生の推進	取組の推進	歴史都市・京都創生策Ⅱ	政策企画室（京都創生担当）	国家戦略としての京都創生の推進	・国に対する提案・要望、「日本の京都」研究会の開催、京都創生推進フォーラムの開催、「京あるきin東京」の実施など
III 多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進	5 多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進	取組の推進	市長公室（広報担当）	多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進	・「市民しんぶん」やテレビ、ラジオなどの媒体を活用した広報活動の展開 ・「京都市情報館」及び「きょうと動画情報館」のリニューアル	
	6 戰略的広域シティPR事業	戦略的広域パブリシティ・システムの構築				
IV 参加と協働による市政運営とまちづくりの推進	7 市民参加推進計画の推進	取組の推進	第2期京都市市民参加推進計画 市民協働政策推進室（市民協働担当）	市民参加推進計画の推進	・青少年の市民参加の促進についての検討 ・公共人材の育成と交流を図るため、協働連続講座の開催	
	8 「未来まちづくり100人委員会」の運営	取組の推進		「未来まちづくり100人委員会」の運営	・第4期(平成24年5月～26年3月)の委員会を毎月開催 ・無作為で選出した市民の会議を開催	
	9 「Let's "KYO" Together!」キャンペーン事業	取組の推進		「共汗スピリット」キャンペーン事業（仮称）	・ラジオ放送等を活用し、「きょうかん」の理念を、広く市民へ発信	
	10 「おむすびミーティング」の開催	概ね月1回開催		「おむすびミーティング」の開催	・概ね月1回開催	
V 大学のまち京都・学生のまち京都の推進	11 「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進	・次期大学政策推進計画の策定 ・取組の推進	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 市民協働政策推進室（大学政策担当）	「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進	・「大学のまち京都・学生のまち京都」推進会議の運営 ・大学施設整備の支援・誘導 ・大学のまち京都の拠点であるキャンパスプラザ京都の運営	
	12 「輝く学生応援プロジェクト」等による学生の活動支援	取組の推進		「輝く学生応援プロジェクト」等による学生の活動支援	・輝く学生応援プロジェクトにより事業助成コース8団体、活動助成コース17団体を支援 ・学まちコラボ事業により8事業を支援	
	13 大学の国際化と留学生受入拡大への支援	取組の推進		大学の国際化と留学生受入拡大への支援	・平成23年度に開設した留学生誘致用HP（日・英・中・韓）に府の施策を紹介するコーナーを新設 ・京都の大学紹介セミナーを中国・大連にて実施（7大学等参画）	

重点方針	平成25年度重点取組				平成24年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	主な実績
VI 京都の活性化に向けた拠点づくりの推進	14 下京区西部エリアの活性化推進事業	取組の推進		市民協働政策推進室(プロジェクト推進担当)	下京区西部エリアの活性化を目指す産・学・公・地域連携検討会議の設置	・「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」の設置・運営
	15 岡崎地域活性化ビジョンの推進	取組の推進	岡崎地域活性化ビジョン		岡崎地域活性化ビジョンの推進	・官民地域連携エリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」による、岡崎地域の優れた地域資源を活かした魅力創出・情報発信事業の実施 ・神宮道を楽しく歩ける空間とするイベント型社会実験「京都岡崎レッドカーペット」の実施
	16 山ノ内浄水場跡地活用事業の推進	取組の推進	京都市山ノ内浄水場跡地活用方針		山ノ内浄水場跡地活用事業の推進	・学校法人京都学園と跡地活用についての基本協定を締結
VII 国際交流・多文化共生施策の推進	17 姉妹都市交流事業	京都・ケルン姉妹都市提携50周年記念事業の実施	京都市国際化推進プラン	姉妹都市交流事業	姉妹都市交流事業	・「姉妹都市青少年みらい環境会議2012 in kyoto」の開催 ・「国際姉妹都市祭 in 京都駅ビル 姉妹都市の夕べ」開催
	18 「京都市国際化推進プラン」の中間見直し	中間見直しの実施				
	19 多文化共生施策の推進	取組の推進		多文化共生施策の推進		・国際文化市民交流促進サポート事業の実施
	20 留学生支援事業	留学生優待プログラムの充実等		留学生支援事業		・対象学生拡大し、留学生優待プログラムを実施
				世界歴史都市連盟事業		・第13回世界歴史都市会議の開催
VIII 情報化の推進	21 情報システムの安全性・継続性の向上	・各局区におけるICT-BCPの策定 ・6つの情報システムをデータセンターに移設	高度情報化推進のための京都市行動計画	情報化推進室(情報政策担当)	情報システムの安全性・継続性の向上	・7つの情報システムをデータセンターに移設
	22 ITガバナンスの強化	情報システムの最適化とコスト削減			ITガバナンスの強化	・情報システムの最適化とコスト削減
	23 大型汎用コンピュータのオープン化の推進	取組の推進		情報化推進室(情報システム担当)	大型汎用コンピュータのオープン化に向けた調査	・効果的な開発手法の選定
					山間地域における携帯電話通話エリアの拡大	・左京区花脊大悲山及び北区西賀茂氷室の移動通信信用施設の整備

4 重点取組の概要

重点方針 I

都市経営の視点に立つ政策の企画・推進

重点取組

1 「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画の推進

[担当：政策企画室政策企画担当，市長公室政策調整担当]

「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」の実現に向け、同プランの具体的な取組を掲げた実施計画及び各政策分野における個別計画等について全庁を挙げて着実に推進します。また、ホームページを活用し、基本計画の実施状況や実施計画（政策編）の進捗状況をわかりやすく公表します。

2 未来の京都創造研究事業 [担当：政策企画室政策企画担当]

幅広い大学間ネットワークを持つ大学コンソーシアム京都と協働して、未来の京都づくりに向けた政策を立案するための調査・研究を実施するとともに、若手をはじめとした市政を支える研究者等の発掘・育成とネットワークの形成を図ります。

3 総合特区制度を活用した事業の推進 [担当：政策企画室政策企画担当]

総合特区制度による国の規制緩和、税財政支援等の特例措置を最大限に活用して、市域に集積する文化的資産の保全継承と創造的活用、美しい町並みと歴史的風土の保全・活用、文化・芸術創造拠点の形成などの取組を総合的に進め、世界の人々が日本文化の神髄と美しい町並みを求めて集い、交流する国際観光拠点を形成します。

また、主にバイオ・ライフサイエンス、環境・エネルギーの分野において、関西の自治体や関係企業、大学等の研究機関が連携し、研究開発から実用化を迅速に進める仕組みづくり、技術革新、海外市場への展開等、産業の国際競争力の強化に関西全体で取り組みます。

重点方針 II

国家戦略としての京都創生の推進

重点取組

4 国家戦略としての京都創生の推進 [担当：政策企画室京都創生担当]

世界の宝、日本の貴重な財産である歴史都市・京都の有する自然、都市景観、伝統文化などを、国を挙げて再生し、活用することにより、国が推進する歴史・風土に根ざした国土づくりや観光交流の拡大、文化芸術の振興、国際社会への発信を実現する「国家戦略としての京都創生」の取組を推進します。

国に対して、制度的・財政的な特別措置等を提案・要望するとともに、国の関係省庁や有識者の方々と京都市職員とで構成する「日本の京都」研究会を開催します。また、取組趣旨に賛同いただいた京都の団体、企業、市民により設立された「京都創生推進フォーラム」や、京都創生の実現を応援する全国の有識者による「京都創生百人委員会」をはじめとした関係団体のお力をいただきながら、京都創生の推進を図ります。

さらに、東京において京都の魅力を発信する京都創生PR事業「京あるきin 東京」を、首都圏に進出している京都の企業、大学、団体等と連携し、京都商工会議所や京都市観光協会等と共にオール京都で実施します。

重点方針III

多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進

重点取組

5 多様な媒体を活用した市政広報・広聴の推進 [担当：市長公室広報担当]

市政に関する情報を、市民の皆様に分かりやすく伝える広報活動と、暮らしやまちづくりについての意見やニーズを市政に生かすための広聴活動は、市民に開かれた、市民と共に汗する市政運営を進めるために極めて重要です。

「市民しんぶん」をはじめとする各種印刷物や、テレビ、ラジオ、インターネットなどの広報媒体を有効に活用し、戦略性と先見性を持った迅速かつ効果的な広報活動を展開します。

また、「市長への手紙」などの広聴活動を実施するとともに、市政の制度、イベント、施設などに関するお問合せを年中無休で受け付ける市政情報総合案内コールセンター「京都いつでもコール」の運営を行います。

6 戰略的広域シティPR事業 [担当：市長公室広報担当]

京都の魅力や市政の先進的な取組等を、全国・海外向けのニュースとして効果的かつ効率的に発信するため、情報のターゲットと適切なタイミングを捉えたうえで、首都圏を中心としたマスメディアに直接、戦略的な働き掛けを行う「戦略的広域パブリシティ・システム」を構築します。

また、「戦略的広域パブリシティ・システム」を活用し、出版物等の企画・特集とタイアップした広報活動を、時期を捉えて実施します。

※ パブリシティ…マスメディアに情報を提供し、記事や番組等で採り上げてもらうこと。

重点方針IV

参加と協働による市政運営とまちづくりの推進

重点取組

7 市民参加推進計画の推進 [担当：市民協働政策推進室市民協働担当]

「参加と協働」により、豊かで活力のある地域社会を実現するため、「第2期京都市市民参加推進計画」に基づく取組を、全庁一丸となって着実に推進

します。

また、全国各地で先進的に行われている協働の取組を自治会、NPO法人等の市民活動団体や企業、大学、行政等の構成員が一緒に学び、交流できる連続講座を開催します。

8 「未来まちづくり100人委員会」の運営

[担当：市民協働政策推進室市民協働担当]

多様な経験を持つ市民が参画し、議論、提言、行動する「未来まちづくり100人委員会」の取組を、より多くの市民が経験し、新たなテーマに取り組んでいけるよう、平成24年度からメンバーを一新して活動を開始しています。

また、「100人委員会モデル」を各区の事業でも活用できるよう、運営ノウハウを有するNPOと連携し、アドバイザーの派遣や体験研修を実施します。

9 Let's "KYO" Together ! キャンペーン事業

[担当：市民協働政策推進室市民協働担当]

「京都のために自分に何ができるのかを考え行動しよう」という理念について、NPOや企業、大学等、多様な活動主体と連携しながら広く発信するキャンペーンを、ラジオ放送等のメディアを活用して展開することで、参加と協働による市民の主体的なまちづくりを更に推進します。

10 「おむすびミーティング」の開催 [担当：市民協働政策推進室市民協働担当]

市長自らが、まちづくり活動の現地・現場や、市民と行政との協働の取組などの中に飛び込み、市民の声に直接耳を傾けるとともに、未来の京都と共に語り合う「おむすびミーティング」を開催します。今後も、引き続き幅広い分野の市民と対話を行えるよう、各局区等との連携を図っていくとともに、新たな共済、協働の取組への発展を目指します。

重点方針V

大学のまち京都・学生のまち京都の推進

重点取組

11 「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進

[担当：市民協働政策推進室大学政策担当]

新たな大学政策の指針として、次期大学政策推進計画を公益財団法人大学コンソーシアム京都と協働で策定します。

また、大学施設整備の支援・誘導を行うなど、京都ならではの「学びの環境」を充実するとともに、産学公及び地域の連携によるまちづくりを更に推進します。

12 「輝く学生応援プロジェクト」等による学生の活動支援

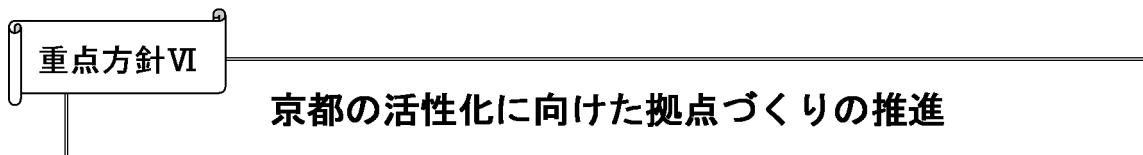
[担当：市民協働政策推進室大学政策担当]

「輝く学生応援プロジェクト」として、大学のまち交流センター1階の「学生の活動拠点（学生Place+）」を活用し、学生が大学の枠を超えて行う、京都のまちの活性化につながる活動を支援します。また、「京都学生祭典」や「学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）」の展開等により、学生のエネルギーを京都のまちの活性化につなげていきます。

13 大学の国際化と留学生受入拡大への支援

[担当：市民協働政策推進室大学政策担当]

大学コンソーシアム京都や各大学との協働の下、京都市域の活性化に資する留学プログラムを開発し、「京都の大学の国際化の推進」、「京都で学ぶ大学生の海外留学の促進」及び「国際化の視野を持った地域の担い手の育成」を図ります。あわせて、海外における京都の大学紹介セミナー開催、多言語ホームページ運営などの留学生誘致活動や住環境整備への支援を行います。



重点取組

14 下京区西部エリアの活性化推進事業

[担当：市民協働政策推進室プロジェクト推進担当]

下京区西部エリアの活性化を目的とした将来構想の策定に向け、「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」において、平成24年度に抽出したエリアの魅力や課題をベースに、平成25年度に実施する基礎調査も踏まえ、将来構想素案を作成します。

また、梅小路公園への集客を周辺地域への回遊へつなげるため、エリア内の施設や団体と連携したイベントの開催や情報発信に取り組みます。

15 岡崎地域活性化ビジョンの推進 [担当：市民協働政策推進室プロジェクト推進担当]

官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」と京都市が両輪となって、多くの市民や関係主体との連携の下で、岡崎地域活性化ビジョンの推進を図ります。

(1) 神宮道歩行者専用化推進プロジェクト

岡崎地域活性化ビジョンの重要方策である憩いと新たな賑わい空間の創出を図る「神宮道（冷泉通～二条通間）の歩行者専用化」に向け、関連調査（測量、交通量調査等）と整備計画づくりに取り組みます。

あわせて、憩いと賑わい創出事業「京都岡崎レッドカーペット」の開催を通じて、歩行者専用化実現への機運醸成を図ります。

- (2) 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」の運営及び地域連携型魅力創出事業
新たに I C T を活用した岡崎地域の総合的な案内・情報発信等に取り組むとともに、「あかりとアートのプロムナード」や「疏水桜ライトアップ＆十石舟めぐり」など、優れた地域資源をいかした四季折々の魅力創出事業を実施します。

16 山ノ内浄水場跡地活用事業の推進 [担当:市民協働政策推進室プロジェクト推進担当]

「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に掲げる市全体の活性化やにぎわいの創出等の早期実現に向けて、学校法人京都学園と締結した御池通南側の用地活用に係る基本協定に基づき、学校法人京都学園が行う「京都学園大学京都太秦キャンパス」の設置が円滑に進むよう支援するなど、取組を進めます。

また、立地する施設が決まっていない御池通北側の用地についても、同方針に基づき、活用に向けた検討を進めます。

重点方針VII

国際交流、多文化共生施策の推進

重点取組

17 姉妹都市交流事業 [担当:国際化推進室]

ケルン市（ドイツ）との姉妹都市提携 50 周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行います。

また、市民レベルの交流を促進するため、京都市内において、ドイツ音楽の演奏や記念植樹等を実施するほか、ケルン市において、清水焼の展示や日本庭園の紹介等、京都・日本の文化を紹介するイベントを行うとともに、観光や京町家の保全・再生等の取組の紹介、京都の魅力の P R など、京都創生の海外発信に取り組みます。

さらに、京都市とケルン市の大学生が、両市のイメージを描いたポスターを展示するなど、両市間の大学交流の推進を図ります。

18 「京都市国際化推進プラン」の中間見直し [担当:国際化推進室]

平成 20 年 1 2 月に策定した「京都市国際化推進プラン」について、計画期間の中間点を迎えることから、策定後の社会状況の変化等を踏まえ、中間見直しを行います。

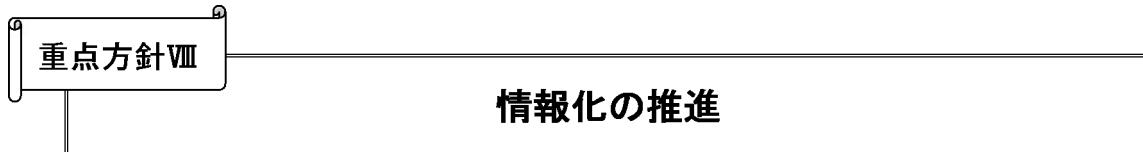
19 多文化共生施策の推進 [担当:国際化推進室]

多様な国籍や文化的背景を持つ方が暮らしやすいまちづくり、多文化への相互理解の促進などを議論する「京都市多文化施策懇話会」を運営します。

また、多様な国籍や文化的背景を持つ方に、地域や各種団体等の催しにおいて、各々の文化の紹介を通じた交流を行っていただく「国際文化市民交流促進サポート事業」を実施します。

20 留学生支援事業 [担当：国際化推進室]

留学生に京都の文化に触れていただいたり、日本人学生との交流機会を提供する「留学生優待プログラム」の拡充を図るとともに、留学生が学びやすく、暮らしやすい環境を整備するため、私費留学生に対する国民健康保険料補助事業等の生活支援や就職支援を行います。



重点取組

21 情報システムの安全性・継続性の向上 [担当：情報化推進室情報政策担当]

安全で安定的な情報システム環境を継続的に確保するため、分散設置されているシステムをセキュリティ環境の整った京都市データセンターへ順次集約し、一元管理することで、更なる情報セキュリティの向上と効率的なシステムの運用を図ります。

22 ITガバナンスの強化 [担当：情報化推進室情報政策担当]

情報通信技術（ＩＣＴ）活用の組織的なコントロール（ITガバナンス）を強化し、「ＩＣＴコストの削減」と「全庁的視点に立った最適化」を推進することにより、一層の行政サービスの利便性の向上と業務の効率化を進めます。

23 大型汎用コンピュータのオープン化の推進

[担当：情報化推進室情報システム担当]

基幹情報（住基、税、福祉等）の処理を行う大型汎用コンピュータについて、最新技術の導入とコスト削減、業務の効率化のため、特定業者固有の技術で作られていない機器等への刷新（オープン化）を図る。平成25年度は、効率的で経費節減が見込める新たな開発手法での着手に向け、開発経費やスケジュールなどについて、更に検討を進めます。

5 平成25年度総合企画局予算のポイント

厳しい財政状況の下、「はばたけ未来へ！『京プラン（京都市基本計画）』」の着実な推進に向けて、その実施計画に掲載する関連事業に重点的に予算配分するとともに、ITガバナンスの取組の強化と既存事業の見直しによる経費節減に努め、予算を編成しました。

なお、総合企画局の平成25年度当初予算額は、26億2,700万円であり、前年度予算額と比較して8,400万円の増となっています。これは、主として、神宮道歩行者専用化推進プロジェクトや国受託統計調査費の増によるものです。

主な新規・充実事業

平成25年度当初予算額

- | | |
|--|----------|
| ・ 神宮道歩行者専用化推進プロジェクト
(→重点取組15) | 45,500千円 |
| ・ 下京区西部エリアの活性化推進事業
(→重点取組14) | 10,000千円 |
| ・ 「大学のまち・学生のまち京都」次期推進計画策定
(→重点取組11) | 5,000千円 |
| ・ 海外留学派遣プログラム支援事業
(→重点取組13) | 4,500千円 |
| ・ 戦略的広域シティPR事業
(→重点取組6) | 15,000千円 |
| ・ 大型汎用コンピュータのオープン化の推進
(→重点取組22) | 8,400千円 |
| ・ 京都・ケルン姉妹都市提携50周年記念事業
(→重点取組17) | 18,352千円 |

平成25年度総合企画局一般会計予算の概要

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
<総合企画局所管>	一般会計合計	2,627,000	2,543,000
1 市政の総合的な推進		1,019,255	910,362
市政の企画・調整等	基本計画の推進・政策評価	2,152	2,152
	国家戦略としての京都創生の推進 京都創生PR事業「京あるきin東京」	38,500	40,000
	岡崎地域活性化ビジョンの推進 神宮道歩行者専用化推進プロジェクト 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」の運営及び地域連携型魅力創出事業	75,500	40,000
	下京区西部エリアの活性化推進事業	10,000	2,000
	未来の京都創造研究事業	16,000	17,000
	地方分権改革・広域連携の推進 関西広域連合、指定都市市長会に係る負担金など	53,605	15,605
	重要事務事業の進行管理、秘書事務など	43,532	44,108
参加と協働による市政運営	「未来まちづくり100人委員会」の運営	19,130	19,130
	Let's "KYO" Together! キャンペーン事業	5,000	5,000
	市民参加推進計画の推進	5,507	5,507
大学振興等	大学のまち京都・学生のまち京都の推進 「大学のまち京都・学生のまち京都」次期推進計画策定	36,500	26,000
	海外留学派遣プログラム支援事業 大学地域連携創造・支援事業	189,856	189,856
市政広報等	市民しんぶん、テレビ・ラジオ広報、市長への手紙、市政情報総合案内コールセンター運営など	392,517	394,185
	戦略的広域シティPR事業	15,000	-
東京事務所	東京事務所運営費	40,956	41,312

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
2 情報化推進		1,312,948	1,341,667
情報化推進	インターネットの管理運営など インターネットワーク回線速度の増強 <新規>	466,432	422,052
	行政業務情報化推進 人事給与、財務会計、文書管理の各システム運営	249,100	285,698
	大型汎用コンピュータ管理運営 大型汎用コンピュータのオープン化の推進 <政策枠>	360,194	416,776
	情報化推進室機械室空調設備及び中央監視設備更新 <新規>	44,110	-
	電子窓口サービス共同事業	23,283	23,283
	情報公開、情報提供、個人情報保護	5,836	5,836
	文書管理事務	54,560	55,610
統計調査	受託統計調査	91,488	63,370
3 国際化推進		294,797	290,971
国際交流事業	姉妹都市交流事業 京都・ケルン姉妹都市提携50周年記念事業 <政策枠>	22,600	15,915
	「京都市国際化推進プラン」の中間見直し <新規>	4,700	-
	世界歴史都市連盟事業	3,098	12,000
	国際交流会館運営	200,262	205,742
	京都文化交流発信事業の推進	8,000	8,000
多文化共生施策推進	多文化共生施策の推進 多文化施策懇話会運営、医療通訳派遣など	9,245	9,245
	留学生支援 留学生優待プログラム、国民健康保険料の助成など	19,500	19,434